



見えない相手の人権

インターネット上で見られる主な人権侵害の例

人権侵害例
名指しでの誹謗中傷
同和地区についての具体的な書き込み
犯罪被害者や家族などの情報の掲載
出会い系サイトによる犯罪への扇動

インターネットでは自分の名前や顔を知られることなく発言できます。その匿名性を悪用し、誹謗中傷や無責任なうわさを広める人権侵害が起こっています。

インターネットによる人権侵害

掲 示板やSNSなどコミュニケーションの輪を広げる便利なインターネット。インターネットは急速に発展し、老若男女問わず利用されています。しかし便利な一方で、ルールやモラルがないがしろにされています。悪意を持った書き込みや不用意な書き込みで他人の人権を侵害してしまう事件が起こっています。

インターネットでは自分の名前や顔を知られることなく発言できます。その匿名性を悪用し、誹謗中傷や無責任なうわさを広める人権侵害が起こっています。

人権侵害で困った時は最寄りの法務局へ。相談は無料で相談内容などの秘密も守られます。

◆全国共通人権相談ダイヤル(みんなの人権110番) ☎0570・003・110

このような人権侵害は名誉毀損の罪に問われることもあり、では防ぐために何に気を付ければ良いのでしょうか。インターネットを利用するときは直接人と接する時と同じようにルールやモラルを守り、相手の人権を尊重することが大事です。お互いの顔は見えずともインターネットでつながった先にいるのは心を持つ生身の人間であることを忘れずにコミュニケーションを取りましょう。

防ぐために

インターネットではいったん書き込みを行うと簡単に消すことはできなくなります。一時の感情に任せて悪口を書いた場合、その書き込みは一生消えることなく相手に苦しめます。



口 ボット競技の甲子園ともいえる全国高等学校ロボット競技大会が今年も行われる。藤岡工業高校電子機械研究部は、県大会を勝ち抜き、8年連続で全国大会への切符を手に入れた。

関部長と中村副部長は、「ロボットは一人では絶対に作れない。部員全員が同じベクトルを向いて大会に臨んでいなくては」とチームワークの大切さを語る。

この大会は、「毎年異なる課題をクリアすべく、アイデアを駆使してロボットを製作し、競技を通して、

チーム一丸となって

その速さや正確さなどを競うというもの。「ロボットの設計や部品選び、組み立てなど、全て自分たちで行っています。課題に合わせて走行コースも一から作り上げているんです」と大会に懸ける思いを語る。

「卒業した先輩も時々来て、指導してくれます」と学年を超えた仲の良さがうかがえる。部では、先輩から後輩へ知識や技術が受け継がれ、それが部全体のレベルアップにもつながっている。

「今年は全国で上位入賞を果たしたい」とロボットのさらなる改良に力が入る。



藤岡工業高校 電子機械研究部
中村 天奎さん(藤岡)・関 悠馬さん(藤岡)
Profile
1999年藤岡生まれ。高校1年生のころから部に所属。9月18日に行われた県大会では、惜しくも準優勝だったが、8年連続となる全国大会出場を決めた。

welcome to library **本との出会い**
図書館司書がセレクトした新刊情報

開館時間 午前9時～午後8時(土・日曜日、祝日は午後5時まで)
休館日 月曜日
問い合わせ 藤岡市立図書館 ☎21669

ピーターラビットの世界へ

朝からスキャンダル



著者▷酒井順子
世間をにぎわすスキャンダルから、男が、女が、人生が見えてくる。

よっつ屋根の下



著者▷大崎梢
ひとりじゃない。家族でいるのが大変な時代の、親子四人の物語。



著者▷河野芳英
誕生秘話、知られざる謎に迫るファン待望の一冊。初公開のイラスト多数。